

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 28 年 3 月 24 日 (2016.3.24)

【公開番号】特開 2013-191548 (P2013-191548A)

【公開日】平成 25 年 9 月 26 日 (2013.9.26)

【年通号数】公開・登録公報 2013-052

【出願番号】特願 2013-21866 (P2013-21866)

【国際特許分類】

H 0 1 M 10/04 (2006.01)

H 0 1 M 10/0587 (2010.01)

H 0 1 M 10/052 (2010.01)

H 0 1 M 4/36 (2006.01)

H 0 1 M 2/02 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 10/04 W

H 0 1 M 10/0587

H 0 1 M 10/052

H 0 1 M 4/36 C

H 0 1 M 2/02 K

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 2 月 1 日 (2016.2.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

蓄電装置であって、

セパレータを挟んで正極と負極とが捲回された複数の捲回部と、前記正極及び前記負極のそれぞれが前記複数の捲回部の外部へ延在した部分からなる連結部と、を有し、

前記複数の捲回部は、前記連結部を介して接続され、

前記連結部が湾曲又は屈曲することにより前記蓄電装置が可撓性を有することを特徴とする蓄電装置。

【請求項 2】

蓄電装置であって、

セパレータを挟んで正極と負極とが捲回された複数の捲回部と、前記正極及び前記負極のそれぞれが前記複数の捲回部の外部へ延在した部分からなる連結部と、複数の可撓性基板と、を有し、

前記複数の捲回部は、前記連結部及び前記可撓性基板を介して接続され、

前記連結部及び前記可撓性基板が湾曲又は屈曲することにより前記蓄電装置が可撓性を有することを特徴とする蓄電装置。

【請求項 3】

請求項 1 乃至 2 のいずれか一項において、

前記複数の捲回部は、前記連結部を介して直列に接続されていることを特徴とする蓄電装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 2 のいずれか一項において、

前記複数の捲回部は、前記連結部を介して並列に接続されていることを特徴とする蓄電装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項において、

前記複数の捲回部の捲回数は、いずれも同数であることを特徴とする蓄電装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか一項において、

前記複数の捲回部及び連結部は、非水電解液とともに可撓性を有する外装体に封入されていることを特徴とする蓄電装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか一項において、

前記負極は負極集電体と負極合剤層で形成され、

前記負極合剤層は表面が凹凸状である負極活物質と、負極活物質を覆うグラフェンで形成されることを特徴とする蓄電装置。